

第1章 平成23年度山口大学構内遺跡の調査

第1節 平成23年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡内にまたがって位置している。

このような環境の下、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋蔵する貴重な埋蔵文化財を保護・調査・研究・活用する施設として、昭和53年(1978)に職員が配置されて以来、その重責を担い続けている。当館の平成23年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の立場から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で調査を厳密に行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(職員宿舍等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、出来る限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する当館の平成23年度の職員配置は、専任教員2名と教務補佐員1名、事務補佐員1名である。

上記の調査の結果で埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工事設計の変更等で現状保存が可能であるかどうかについて厳密な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報(本書)を刊行している。

上記の調査体制の下、平成23年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財の調査は、表1

表1 平成23年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m ²)	調査期間	本書掲載頁
本発掘	特高受変電設備棟新営工事	吉田	P-16	200	5月9日～6月23日	5～22
予備発掘	教育学部附属光学校下水道接続工事	光		19.4	9月12日～9月18日	35～40
立会	特高受変電設備棟新営工事	吉田	Q-16 R・S・T・U・V-17	280	12月16・19～21・26・27日 1月5・6日	22～25
	基幹整備(第1体育館周辺排水整備)工事	吉田	G-13・14	72	1月27日	26
	埋蔵文化財資料館スロープ取設工事	吉田	N-16	48	2月28日	27
	第2学生食堂西側テーブル・ベンチ取設工事	吉田	M-15	8	3月9日	28
	農学部植物工場新設工事	吉田	P-15	224	3月21・22日	29
	農学部連合獣医学科棟横倉庫撤去・新設工事	吉田	O-17	75	3月6日	30
	教育学部附属特別支援学校散水栓増設工事	吉田	C・D-21	16.8	12月22日	31
	教育学部附属学校園案内板設置工事	白石		1	7月25日	32
	教育学部附属幼稚園渡り廊下屋根拡張工事	白石		11.5	8月3日	33
	地域医療教育研修センター新営工事	小串		4	9月6・9・16日	34
教育学部附属光小学校遊具設置工事	光		20	8月1日	41	

の通り、本発掘調査1件、予備発掘調査1件、立会調査11件の計13件であった。

吉田構内(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部:山口市吉田1677-1、教育学部附属養護学校:同吉田3003所在)

例年通り、平成23年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は本発掘調査1件、立会調査7件を数える。

特高受変電設備棟新営に伴う本発掘調査では、南東-北西方向に走る旧河川が検出された。埋積土には主として古代後期から中世初頭の遺物が包含されており、河川が機能した時期を推定できる。調査範囲に遺構は希薄であったが、河道に直交するかたちで河床に杭列が設けられていることが確認された。また、杭列に近接して左岸にピット1基が設けられていることも確認された。

立会調査では、埋蔵文化財に支障が生じた工事は少なかったものの、特高受変電設備棟に近接する農学部植物工場新設工事にて、大型の柱穴1基を確認した。工事地周辺では北東に隣接する農学部



写真1 吉田構内航空写真(南東から)



写真2 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)航空写真(東から)



写真3 白石構内(教育学部附属山口中学校)航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

植物工場敷地にて古代の土器を主とする遺物包含層が、また東に隣接する農学部農業観測実験施設では大型掘立柱建物跡が検出されている。当地周辺に古代官衙が存在した可能性は極めて高く、今後も慎重な対応が必要と言える。

白石構内 (教育学部附属山口幼稚園: 山口市白石三丁目1-2、同山口小学校: 白石三丁目1-1、同山口中学校: 白石一丁目9-1所在)

立会調査2件を実施した。このうち教育学部附属幼稚園渡り廊下屋根拡張工事に伴う立会調査では、調査した4地点中3地点で遺物包含層を確認し、弥生土器または土師器の小片が出土している。

小串構内 (医学部、同付属病院: 宇部市南小串1丁目1-1)

立会調査1件を実施した。平成22年度に予備発掘調査を実施した地域医療教育研修センター棟の配管設備ルートにおいて、4箇所で行った立会調査を実施した。近世の客土とその下位に遺物包含層が形成されていることを確認したが、遺物の発見には至らなかった。

常盤構内 (工学部: 宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎: 同上野中町2658-3所在)

土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

光構内 (教育学部附属光小学校、同光中学校: 光市室積8丁目4番1号)

予備発掘調査1件と立会調査1件を実施した。教育学部附属光学校下水道接続工事に伴う予備発掘調査では、配管予定地5箇所を対象に発掘調査の手を加えたが、遺構面形成層の確認はできたものの遺構の検出には至らなかった。

教育学部附属光小学校遊具設置工事に伴う立会調査では、木製アスレチックの基礎掘削部において遺構面形成層と見られる砂層を検出したが、遺構の確認には至らなかった。

平成23年度は、例年に比して構内における土地の掘削を伴う開発工事計画数が少なかったため、当館としても十分な体制で埋蔵文化財保護対応を実施することができた。特に、吉田構内において今までやや不明確であった平安時代後期から中世初期の遺構分布の一端を得ることができたのは大きな成果と言える。他の構内では、工事計画が少なく、かつ埋蔵文化財に大きな支障は生じる工事が行われなかった。



図2 小串・常盤構内位置図



写真4 小串構内航空写真 (南東から)



写真5 常盤構内航空写真 (南から)



写真6 光構内航空写真 (北東から)

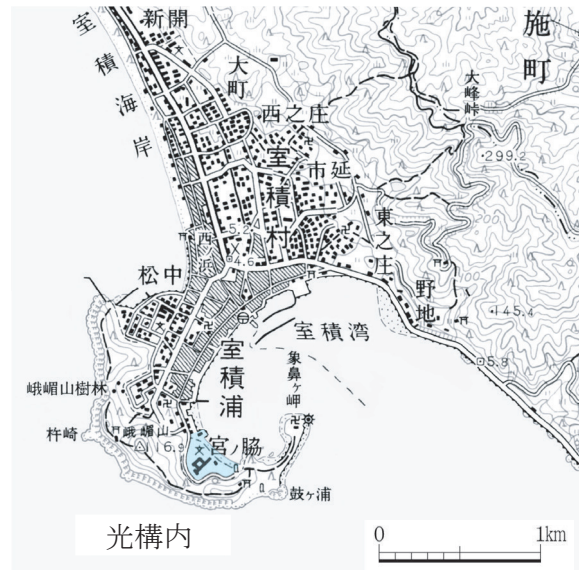


図3 光構内位置図